

■OBからのメッセージのサマリ (2024/1/20付)

NO.	期科	氏名	表題	概略 (会員への通知するときに概略紹介している内容)	卒業年度西暦	卒業年度	学科/専攻
31	15H	西田浩志	外国人との距離	田舎育ちで外国人は遠い存在だったけれど、海外旅行したときに、英語もあまり喋れなかったOBが、1人で話しかけたり、失敗時に助けて貰ったりした事で外国人をととても身近に感じる様になったエピソードを紹介しています。ぜひご一読ください。	1981年	(S56年)	金属工学科
30	9M	佐野満秋	海外での思い出&今昔四方山話: ドイツ編③ 種々の返礼	ドイツ出張のときに立ち寄った居酒屋で、ナプキンで折鶴を作った事からはじまる現地の人との交流と、ドイツ人技術者との日本とドイツでの「えっ、こんな事が？」と思える様な交流のエピソードです。OBのととても温かな人間性を感じさせてくれますし、とても清々しい気分になります。ぜひご一読ください。	1975年	(S50年)	機械工学科
29	22M	村上弘	高専生の多様性	各地のOB会に参加し、卒業生が多様な分野で活躍している姿を知る事で高専生の能力の高さや多様性を感じているOBのエッセイです。改めて誇りと自信を持たせてくれます。ぜひご一読ください。	1988年	(S63年)	機械工学科
28	9M	佐野満秋	海外での思い出&今昔四方山話: ドイツ編② 折紙等々の縁	ドイツへの長期出張で、折り紙を通して現地の人達と触れ合ったエピソードを紹介しています。単なる観光旅行ではなかなか味わえない心温まるふれあいで、現地の人達やOBの笑顔が見える様です。ぜひご一読ください。	1975年	(S50年)	機械工学科
27	3M	豊嶋幸	マラソンで生まれ変わって、 ハッピーは今年15歳	定年退職後に奥様からの一言をきっかけにトレーニングを始め、1年後にはホノルルマラソンを完走、更にいくつかのメジャーな大会にも出場して完走。一方で、多くの事に興味を持ち続けているOBのハッピーな体験エッセイです。是非ご一読ください。	1969年	(S44年)	機械工学科
26	15E	久門易	ながいながい40年、 あつというまの40年	きびしい寮生活で鍛えられ、優良企業に就職したけれど、いろいろあってリセットする覚悟で上京し写真の道に。時代の波、写真業界の波の中で、さてこれからどうしたものかと思惑錯誤しているOBのエッセイです。ぜひご一読ください。	1981年	(S56年)	電気工学科
25	15H	鎌田忠	塀の中から	寮と学び舎が同じ敷地内にある環境で5年間を過ごし、就職した会社では、世界を飛び回ったり、国内のいたるところに駐在したりして活動してきたOBが、学生生活、会社の成長、地域貢献などを振り返って、少しだけ今の気持ちを吐露したエッセイです。ぜひご一読ください。	1981年	(S56年)	金属工学科
24	6H	中塚康雄	私の履歴書 人生は人との出会い	貧しい学生生活の中で、人に出逢い、助けられて社会人となり、企業の中で、課題に、知識に出逢ってがむしゃらに進み、ふとしたときに周りの人に助けられている事に気付く。そして今も、やりたい事に少年の心で取り組みながら、人との出会いに感謝を忘れないOBのメッセージです。ぜひご一読ください。	1972年	(S47年)	金属工学科
23	8H	越智斉	UPDATE の変遷	ビジネスマン生活の中で、何度も感じる足りない事への気づき、その度に自分をアップデートし、自分を磨いてきたOBがいくつかの経験を語っています。自分にはどんな気づきがあったのだろうと振り返らせてくれます。ぜひご一読ください。	1974年	(S49年)	金属工学科
22	9M	合田裕志	採用面接	誰もが経験している採用面接、評価する側の面接官として多くの経験をしたOBが、面接のポイントと人材育成のコツを語っています。これから面接する人には是非聞かせたい内容です。	1975年	(S50年)	機械工学科
21	9M	佐野満秋	海外での思い出&今昔四方山話: ドイツ編	若い頃に出張でドイツを訪問したときの実体験を中心に、当時のドイツ人が感じていた、日本人はなぜ先の大戦で敵国だった米国の仲良く出来ているのかとか技術に対してどんな風に考えているかなどについて、感じたままに語っています。ぜひご一読ください。	1975年	(S50年)	機械工学科
20	3M	片上男次	70代・感謝の気持ちで青春を楽しむ!	技術コンサルタントのOBが、昔を思い出したり、日々の活動を語りながら、今の青春を楽しんでいる姿を感じさせてくれます。仕事を含め日々の生活を、楽しみ、感謝を忘れない明るく、はつらつとした姿がとても素敵です。ぜひご一読下さい。	1969年	(S44年)	機械工学科
19	9M	佐野満秋	海外での思い出と今昔四方山話: モスクワ編	若い頃に立ち寄ったモスクワでの出来事や、日本が大戦直後に味わった悔しさなどの話を思い出しながら、戦争の怖さ過酷さなどに想いを馳せています。映画の1シーンを思わせる表現もあり、心に響きます。ぜひご一読ください。	1975年	(S50年)	機械工学科
18	3E	藤原貴美	日食を追いかけて	「好きな事を追いかける」少年の心を持ち続けているOBの姿が目につきます。読んでいると思わず笑みがこぼれます。ぜひご一読ください。	1969年	(S44年)	電気工学科
17	3E	加藤敏幸	銀杏と学生新聞記事	新居浜高専を開校した初期の頃はこんなだったのかと思わせてくれる描写から始まり、入学後に学生会や新聞部で経験した事、感じた事などを、懐かしく振り返って頂いています。読むと昭和の風景と風を感じます。是非ご一読下さい。	1969年	(S44年)	電気工学科
16	1M	日野通	我が闘病記	会員の中には様々な豪傑が居ますが、今回お届けするのは病氣と闘うOBです。日課の様に淡々と向き合っているユニークな回復活動を語って頂いています。仲間として大きなエールを送りたいと思います。ぜひご一読ください。	1967年	(S42年)	機械工学科
15	1E	渡部進	喜寿を前にして	高専に入学してから、ビジネスマン、経営者として国内外でご活躍、更に退職後は介護と非常に密度の濃い時間を過ごされた先輩の60数年を振り返って頂いています。ぜひご一読ください。	1967年	(S42年)	電気工学科
14	9M	佐野満秋	高専の思い出その2	高専で学んだ物理学の理論(バルチエ効果、レーザー光線)、それが実社会でどんな風に製品化されているのか、実社会で見聞きした結果を紹介しています。いろんなところにエンジニアとしての視点が盛り込まれており、さすが高専卒業生の視点と感ずります。ぜひご一読ください。	1975年	(S50年)	機械工学科

NO.	期科	氏名	表題	概略（会員への通知するときに概略紹介している内容）	卒業年度西暦	卒業年度	学科/専攻
13	15H	西田浩志	成功のカギは仲間	昔は「不言実行」とか言われてましたが、今は「有言実行」！周りを巻き込んで、協力を得たり文殊の知恵を出し合ったり。テレワークが一般化して人間関係が希薄になりがちですが、もう1歩頑張ってみたい投稿者です。ぜひご一読ください。	1981年	(S56年)	金属工学科
12	3E	三谷武久	唐招提寺と鑑真和上	1300年前に来日した鑑真和上に思いを馳せたエッセイです。渡航が命がけだった時代に、12年をかけて来日し、仏の教えを伝え、あらゆる事を指導した、不屈の精神力と揺るがぬ信念を持った和上への想いを語っています。ぜひご一読ください。	1969年	(S44年)	電気工学科
11	12C	中野吉雅	ラジオ番組に出演、夢を語る	2022年11月14日に放送されたラジオに12Cの中野さんが出演されました。「治面地順子のYour Dream」という千葉のFMラジオです。1時間番組で、ほとんど中野さんのトーク。自己紹介に始まり、新居浜高専時代の事、企業勤めの事、そして会社を起業した現在の事を話し、これからの夢を本音で熱く語っています。URLをクリックしたら再生されます。	1978年	(S53年)	工業化学科
10	35EC	藤田大輔	『わからない』から逃げない』ということ	技術革新の早いIT業界の中で、いかにしてトップグループをキープしているのか、その事で何が得られたのか。業務の実体験で得た教訓を、後輩達へのエールとして語っています。自分を信じチャレンジし続けている姿に共感します。	2001年	(H13年)	電子制御工学科
9	3C	久枝芳則	真理・原理探りと成功体験	学生時代からビジネスマン時代、定年後の現在に至る活動を通して、どんな体験をしてきたか、それらの体験から何を学んだのかを、さらりと、熱く語っています。是非ご一読ください。（以前に掲載していた内容を大幅に改定しています）	1969年	(S44年)	工業化学科
8	9M	谷口佳文	「ものづくりコンテスト」の思い出	民間企業を経て新居浜高専機械工学科で勤務した谷口さんが、学生と一緒にロボコンなどものづくりコンテストに参加した日々を振り返っています。高専ロボコンがより身近なものに感じられ、学生達が少しうらやましくなります。	1976年	(S51年)	機械工学科
7	9M	合田裕志	昭和と吉田拓郎さん	好奇心に溢れた高専時代に吉田拓郎の歌を通して感じた事を思い出しながら、今から先を考えた合田さんのエッセイ。読むと、あの頃の寮生活や新居浜の風を感じます。	1975年	(S50年)	機械工学科
6	7M	寺本範雄	現役の高専生の皆さん、 ～ Find the joy in your life!! ～	学生時代に培った英語力を活かしてアメリカ・アジア・オセアニア・南アフリカ・中南米などで長年活動し、今後はグローバル人材育成がミッションと熱く語る寺本さんからのメッセージです。	1973年	(S48年)	機械工学科
5	1E	TedSaeki (佐伯徹郎)	順応同化の精神はチャレンジの精神	目まぐるしく変わるビジネス環境に順応同化し続け、生涯青春の気持ちで乗り切るTedさんからのメッセージです。	1967年	(S42年)	電気工学科
4	9M	佐野満秋	新居浜高専の思い出	高専の思い出 学生の頃に西堀栄三郎先生の講演で聞いた、同じものとは同じ機能と認識、南極にお酒を持ってゆくなど心に残っている話を紹介頂いています。	1975年	(S50年)	機械工学科
3	15H	西田浩志	「ぐっ」ときたCM	会社の中には花形の仕事も陰の仕事もあるけれど、組織としては両方必要。実現したいものがとても素敵で役割分担を理解し合えたら仕事に向かう姿勢も変わるよね、とCMに教えて貰った。	1981年	(S56年)	金属工学科
2	35EC	高橋陽介	コロナ禍のインド赴任	インドに赴任しているOBが、インドの都市で生活し、インド人のチャレンジ精神、インドの文化に触れて、感じた事をエッセイにまとめています。	2001年	(H13年)	電子制御工学科
1	7M	佐々木克己	大学を卒業しなくても、 会社（技術系）で十分活躍出来たぞ！ 院卒とも対等に以上に仕事が出来たぞ！	同期には大卒も院卒も居たけれど、仕事では絶対負けなかった。仕事は学歴でするものではなく、実力でするものと力強く語って頂いています。読むと自信と勇気が湧いてきます。	1973年	(S48年)	機械工学科